

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券
信託期間	2017年1月13日まで（2014年1月7日設定）
運用方針	ブラジルリアル建ての国債、政府機関債、国際機関債を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。投資に当たっては、ファンドの信託期間と残存年数が近い銘柄を保有します。基準価額（1万口当たり。以下本項において同じ。）が12,000円以上となった場合には、短期資産マザーファンド受益証券への投資等を通じて、主としてわが国の短期公社債等による安定運用に切り替えた後、速やかに信託を終了させます。ただし、基準価額が12,000円以上となってから信託を終了させるまでの市況動向や売却コスト等により、基準価額もしくは償還価額が12,000円以下となる場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ブラジルリアル建ての公社債を主要投資対象とします。また、基準価額の動向によっては、短期資産マザーファンド受益証券に投資することがあります。
主な組入制限	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
分配方針	元本超過額または経費等控除後の配当等収益のいずれか多い額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向、運用状況等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

繰上償還条項付 ブラジルリアル債券ファンド 2014-01

愛称：プチアソート3（ブラジルリアルコース）



第2期（決算日：2016年1月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「繰上償還条項付 ブラジルリアル債券ファンド2014-01（愛称：プチアソート3（ブラジルリアルコース）」は、去る1月15日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

三菱UFJ投信株式会社は2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00~17:00, 土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

◀ 繰上償還条項付 ブラジルリアル債券ファンド2014-01のご報告 ▶

◇設定以来の運用実績	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移	1
◇運用経過	2
◇今後の運用方針	5
◇1万口当たりの費用明細	6
◇売買及び取引の状況	6
◇利害関係人との取引状況等	7
◇組入資産の明細	7
◇投資信託財産の構成	8
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	9
◇損益の状況	9
◇お知らせ	9

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			受利益 回率	債券 組入比	債券 先物比	元残 存率
		税金 分配	み 金 騰 落	中 期 騰 落 額				
(設定日)	円	円	円	%	%	%	%	
2014年1月7日	10,000	—	—	—	—	—	100.0	
1期(2015年1月15日)	11,203	10	1,213	12.1	11.8	96.0	45.9	
2期(2016年1月15日)	7,967	0	△3,236	△28.9	△10.0	94.8	33.4	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注) 受益者利回りは元本1万円に対して計算しております。

(注) 当ファンドは、ブラジルリアル建てのソブリン債券を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債券 組入比	債券 先物比	債券 先物比
		騰落	率			
(期首)	円	%	%	%	%	%
2015年1月15日	11,203	—	—	96.0	—	—
1月末	11,375	1.5	—	96.5	—	—
2月末	10,274	△8.3	—	96.8	—	—
3月末	9,335	△16.7	—	94.3	—	—
4月末	10,177	△9.2	—	96.3	—	—
5月末	10,002	△10.7	—	96.4	—	—
6月末	10,044	△10.3	—	96.5	—	—
7月末	9,566	△14.6	—	97.1	—	—
8月末	8,838	△21.1	—	96.0	—	—
9月末	7,649	△31.7	—	94.5	—	—
10月末	8,257	△26.3	—	94.4	—	—
11月末	8,462	△24.5	—	94.9	—	—
12月末	8,350	△25.5	—	96.1	—	—
(期末)						
2016年1月15日	7,967	△28.9	—	94.8	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第2期：2015/1/16～2016/1/15)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ28.9%の下落となりました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券の利子収益を享受したことが、上昇要因となりました。
下落要因	ブラジルリアルが対円で下落したことなどが、下落要因となりました。

投資環境について

(第2期：2015/1/16～2016/1/15)

◎債券市況

- ・インフレ率が高止まりするなかBCB（ブラジル中央銀行）が政策金利を複数回引き上げたことに加えて、国営石油会社ペトロbrasなどに対する政治汚職疑惑を巡る混乱や格付会社大手の格下げなどを背景に、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

為替市況の推移
(期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・ブラジルリアルは対円で下落しました。前記の政治不透明感や、資源価格が下落するなか同国経済への悪影響が懸念されたことなどがブラジルリアルの売り材料となったほか、世界経済の先行き不透明感の高まりを受けた投資家のリスク回避傾向の強まりから円が買われました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・当ファンドは、ブラジルリアル建ての国債、政府機関債、国際機関債を主要投資対象としています。
- ・当期は、ブラジルリアル建てのブラジル国債および政府機関債で90%以上の組入比率を維持しました。
- ・ブラジルリアル建てのソブリン債券の投資に当たっては、ファンドの信託期間と残存年数が近い銘柄を継続的に保有しました。
投資行動の結果、債券利子収益を享受したことはプラスとなったものの、ブラジルリアルが対円で下落したことなどから基準価額は下落しました。

(ご参考)

利回り・デュレーション (平均回収期間や金利感応度)

期首 (2015年 1月15日)

最終利回り	11.8%
デュレーション	1.6年
平均残存年数	2.0年

- ・数値は債券現物部分で計算しております (先物は考慮していません)。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

期末 (2016年 1月15日)

最終利回り	14.3%
デュレーション	0.8年
平均残存年数	1.0年

- ・数値は債券現物部分で計算しております (先物は考慮していません)。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・ブラジルリアル建てのソブリン債券を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益 (留保益) につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配金】

決算期	1万口当たりの分配金 (税込み)
第2期	0円

今後の運用方針

◎運用環境の見直し

- ・ブラジルの景気は、国内では、インフレ率が高止まりするなかで個人消費や設備投資などの低迷が予想されます。また、国外では、中国景気の減速や原油・鉄鉱石など資源価格の低迷など、外部環境も厳しい状況が続く見込みであり、予断を許さない状況が続くと考えます。
- ・今後、景気が低迷し政治不透明感も根強い環境下、現状の格付を維持し国外への資金流出を防ぐために財政健全化が着実に進展するかどうかが、大きな焦点です。
- ・主要先進国では、日銀や欧州中央銀行などによる金融緩和政策の維持などを背景として、世界的に金利が低水準で推移しています。このような環境下、先進諸国との比較で相対的に金利水準が高いという点で、ブラジルは魅力的な投資先と考えられます。
- ・ただし、前述のブラジル国内要因に加えて、中国の減速懸念や地政学的リスクの高まりなどを起因とした外部環境の悪化などから、不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

- ・ブラジルリアル建てのソブリン債券を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。
- ・ブラジルリアル建てのソブリン債券の投資に当たっては、ファンドの信託期間と残存年数が近い銘柄を保有します。
- ・今後も、市場動向を注視しつつ、慎重に投資を行っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年 1月16日～2016年 1月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 106	% 1.134	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(51)	(0.540)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(51)	(0.540)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	26	0.277	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(25)	(0.271)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	132	1.411	
期中の平均基準価額は、9,360円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2015年 1月16日～2016年 1月15日)

公 社 債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 1,356	千ブラジルリアル 5,677

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2015年1月16日～2016年1月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	—	—	—	216	9	4.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2016年1月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジルリアル 15,870	千ブラジルリアル 15,253	千円 450,427	% 94.8	% —	% —	% —	% 94.8
合 計	15,870	15,253	450,427	94.8	—	—	—	94.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
ブラジル	%	千ブラジルリアル	千ブラジルリアル	千円		
国債証券	10 (IN) BRAZIL NTN-F170101	10.0	13,870	13,310	393,054	2017/1/1
特殊債券	9.5 KFW (GL) 161215	9.5	2,000	1,942	57,373	2016/12/15
合 計					450,427	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2016年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 450,427	% 94.1
コール・ローン等、その他	28,322	5.9
投資信託財産総額	478,749	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (473,383千円) の投資信託財産総額 (478,749千円) に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ブラジルリアル=29.53円	1 ユーロ=128.37円		
------------------	---------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年1月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	478,749,151
コール・ローン等	27,844,876
公社債(評価額)	450,427,748
未収利息	476,527
(B) 負債	3,726,566
未払解約金	789,500
未払信託報酬	2,926,296
その他未払費用	10,770
(C) 純資産総額(A-B)	475,022,585
元本	596,212,962
次期繰越損益金	△121,190,377
(D) 受益権総口数	596,212,962口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,967円

<注記事項>

- ①設定年月日 2014年1月7日
 設定元本額 1,780,812,201円
 期首元本額 817,929,621円
 元本残存率 33.4%

また、1口当たり純資産額は、期末0.7967円です。

- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は121,190,377円です。

- ③計算期間末における当ファンドの配当等収益額(47,994,942円)から経費(9,237,048円)を控除した額(38,757,894円)に、期末の受益権口数(596,212,962口)を乗じて期中の平均受益権口数(694,877,722口)で除することにより分配可能額は33,254,712円(1万口当たり557円)ですが、当期に分配した金額はありません。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ(<http://www.am.mufg.jp/>)をご覧ください。

[お知らせ]

- ①2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。(2015年7月1日)
 ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

○損益の状況 (2015年1月16日～2016年1月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	47,994,942
受取利息	46,981,844
その他収益金	1,013,098
(B) 有価証券売買損益	△259,129,670
売買益	5,208,600
売買損	△264,338,270
(C) 有価証券評価差損益	△9,021,958
(D) 信託報酬等	△9,237,048
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△229,393,734
(F) 前期繰越損益金	98,364,398
(G) 解約差損益金	9,838,959
(H) 計(E+F+G)	△121,190,377
(I) 収益分配金	0
次期繰越損益金(H+I)	△121,190,377

(注) (D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。